TECHNICAL SALES DIGEST CATALOG

設備の信頼性を、診断と技術で高める。

総合技術営業・ダイジェスト版

VELDE-TRADING Co., Ltd. / 2026

潤滑・汚染防止・動力伝達・
状態監視・表面改質を、
設備の課題から一つの
改善提案へ。

OMEGA	ROCOL	iCan	TTI
GATES	UE Systems	OXISO	軸受保護・シール

SOLUTIONS FOR
RELIABLE OPERATIONS



GATES



ROCOL


OMEGA

KEEP
INDUSTRY
RUNNING
TOMORROW


UE Systems



OXISO



TTI



iCan


軸受保護・シール

Velde trading
VELDE-TRADING Co., Ltd. / 2026

技術で、止まらない明日をつくる。

KEEP INDUSTRY RUNNING TOMORROW

設備の症状から、必要な技術へ。

20のテーマを初回商談で確認できる、24ページの技術ダイジェスト。

CONTENTS

01 提供価値・課題の整理 03–05

02 潤滑剤と専用潤滑 06–07

03 清浄な補給・呼吸口対策 08–10

04 動力伝達・張力管理 11–12

05 超音波・状態監視 13

06 表面改質・軸受保護 14–15

07 油・グリース分析 16

08 改善・試験・費用対効果 17–21

09 出典・相談の進め方 22–24

本カタログの読み方

全ページを順番に読む必要はありません。最初に設備の症状を選び、関連する分野を確認し、改善前後の指標と比較条件を明確にします。

数値・公表特性・概念図・説明用モデルを区別し、正式採用時にはメーカー最新資料・対象グレード・実機条件を別途照合します。表紙の丸写真は技術分野を示すイメージであり、個別型番の確定写真ではありません。

設備の症状を、具体的な改善の道筋へ。

01 / 提供価値
TECHNICAL SALES / DIGEST

設備の症状を、具体的な改善の道筋へ。

相談で整理するのは「現状・候補構成・評価計画」の3つです。

相談で整理するもの

01

現状整理

症状・運転条件・現用品を整理。
原因の仮説と、次に確認する点を明確にします。

提案するもの

02

候補構成

潤滑・汚染防止・伝動・表面・監視を組み合わせ、適用条件を示します。

判断できるようにするもの

03

評価計画

対象・指標・比較条件を決め、限定導入の結果から採否を判断します。

売るものは製品だけではなく、「次に何を確認し、どう改善するか」です。

基礎資料：当社 総合営業プレゼン詳細改訂版（2026-10-09）。

FIELD NOTES

現場で確認すべき3つの視点

01 相談で整理するのは「現状」「候補構成」「評価計画」の３点です。

02 設備の症状・運転条件・現用品から原因を仮説化し、次に確認する項目を決めます。

03 採用判断は対象・指標・比較条件を合意して、限定導入の結果から行います。

REFERENCE

原図・説明：2026-10-09 ダイジェスト旧版 p.02 ／ 根拠資料：総合技術営業・詳細版（66ページ）詳細版 p.02〜04

現場の「困りごと」から考える。

製品名ではなく、現場の「困りごと」から。

同じ症状でも原因は一つとは限りません。現象と確認項目を対にします。

設備の症状	最初に見る条件	関連する提案領域
軸受の早期故障	給脂・水分・芯ずれ・荷重	OMEGA / UE / SEPCO
ベルトの滑り・早期破断	張力・プーリ・負荷変動	GATES / U-550
油の白濁・汚染	呼吸口・補給経路・シール	TTI / iCan / 油分析
摺動面の焼付き	面圧・油膜・材料・表面性状	OXISO / 潤滑選定
圧縮空気の漏れ	漏れ位置・圧力・稼働時間	UE Systems / 漏れ評価

原因を確認してから、必要な技術だけを組み合わせます。

基礎資料：当社 総合営業プレゼン詳細改訂版（2026-10-09）。

FIELD NOTES

現場で確認すべき3つの視点

01 軸受の早期故障では給脂・水分・芯ずれ・荷重を確認します。

02 ベルトの滑りや早期破断は張力・プーリ・負荷変動を切り分けます。

03 白濁・焼付き・漏れなど、各症状に合わせて確認項目と検証指標を変えます。

REFERENCE

原図・説明：2026-10-09 ダイジェスト旧版 p.03 ／ 根拠資料：総合技術営業・詳細版（66ページ）詳細版 p.03・09

複数領域を横断する提案。

潤滑・保護・伝動・監視を、横断して提案。

潤滑・汚染防止・伝動・状態監視を、設備の課題に合わせて選びます。



OMEGA
グリース・工業用油
掲載資料の外観例



ROCOL
高温チェーン
ワイヤーロープ



iCan
専用容器
識別・清浄な補給



TTI
吸湿型ブリーザー
呼吸口の侵入対策



GATES
高性能Vベルト
写真：Predator



UE Systems
超音波による点検
写真：UP-15000

このほか、OXISO表面改質・SEPCO軸受保護・潤滑状態調査を組み合わせます。

画像：当社保有の製品資料。OMEGAは掲載資料の参考外観、GATESの写真はPredator。

FIELD NOTES

現場で確認すべき3つの視点

01 潤滑剤だけでなく、保管・移送・呼吸口・シール・測定を組み合わせます。

02 OMEGA・ROCOL・iCan・TTI・GATES・UE Systems・OXISO・SEPCOを扱います。

03 製品写真は参考外観です。供給品の型番・寸法・適用条件は別途照合します。

REFERENCE

原図・説明：2026-10-09 ダイジェスト旧版 p.04 ／ 根拠資料：総合技術営業・詳細版（66ページ）詳細版 p.04・10

温度・水・回転条件から選ぶ。

OMEGA｜温度・水・回転条件に合わせる。

油膜を支える製品と、混和・給脂・切替の運用をセットで検討します。

設備条件で選ぶ

軸受グリース

22：高温・高荷重
51：電動機・高速軸受
66：低温始動
78：耐水・防食

粘度と用途を分ける

工業用オイル

612・613などを、実粘度・設備指定・材料・給油方式から照合。

油種と部位を分ける

食品機械

78・585などの候補を、用途区分・現行登録・供給グレードで確認。

銘柄・給脂量・間隔を同時に変えず、同じ条件で改善を確かめます。

補足確認：OMEGA ODP 22・51・66／PIM 78 Rev.1.1（公開資料確認 2026-10-09）。

FIELD NOTES

現場で確認すべき3つの視点

01 OMEGA 22は高温・高荷重、51は電動機・高速軸受、66は低温始動、78は耐水・防食を入口に検討します。

02 工業用オイル612・613は実粘度・設備指定・給油方法を照合して選びます。

03 食品機械では対象グレードのH1登録と使用部位を確認し、意図的な食品接触と混同しません。

REFERENCE

原図・説明：2026-10-09 ダイジェスト旧版 p.05 ／ 根拠資料：総合技術営業・詳細版（66ページ）詳細版 p.13〜19

高温チェーンとロープの専用潤滑。

ROCOL｜高温チェーンとロープの専用設計。

高温チェーンとワイヤーロープで、求める機能を明確に分けます。



写真：BIOGEN WIRESHIELDの資料掲載荷姿

FLO-LINE｜高温チェーン
油膜維持、蒸発・発煙・堆積の抑制を重視。Brückner製チェーン式TDOが対象。

BIOGEN｜ロープ・屋外
浸透・保持・防食・耐水洗流出を、ロープ構造と施工方法に合わせる。

BELT DRESSING｜補助剤
適合ベルトのコンディショニング。張力不良・損傷の修理代替ではありません。

OMEGAと一律に優劣を付けず、装置・機構・施工性に適する製品を選びます。

出典：当社ROCOLプレミアム潤滑油カタログ（2026、全12頁）。最新TDS・供給仕様を採用前に照合。

FIELD NOTES

現場で確認すべき3つの視点

01 FLO-LINEはBrücknerのチェーン式TDOなど、装置機構の確認から入ります。

02 BIOGENはワイヤーロープの浸透・保持・防食・施工性で使い分けます。

03 BELT DRESSINGは使用可能なベルトでの補助剤。張力不良・損傷の修理代替ではありません。

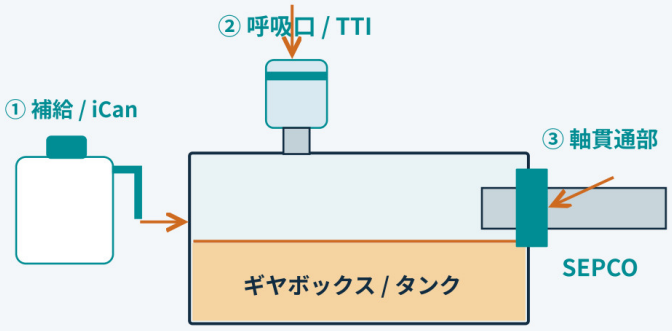
REFERENCE

原図・説明：2026-10-09 ダイジェスト旧版 p.06 ／ 根拠資料：総合技術営業・詳細版（66ページ）詳細版 p.20〜23

保管・呼吸・回転軸の入口を守る。

良い油を、保管・呼吸・回転軸から守る。

油の品質は、良い銘柄を選んだ後の保管・補給・設備構造にも左右されます。



侵入経路ごとに、役割を分担する

補給作業｜iCan
油種専用化と識別で、持込み汚染・混油を抑える。

呼吸口｜TTI
油面・温度変化に伴う吸気の水分・粒子を対策。

軸貫通部｜SEPCO
外部侵入と内部潤滑剤の流出を構造から検討。

冷却水漏れ・シール損傷などの直接原因は、先に修理します。

iCan・TTI・SEPCO資料に基づく役割分担の新規模式図。実機配管図ではありません。

FIELD NOTES

現場で確認すべき3つの視点

01 補給時の油種間違い・外来汚染にはiCanで専用容器・表示を整えます。

02 吸気からの湿気・粒子はTTI、軸貫通部からの侵入はSEPCOの領域です。

03 冷却水漏れや破損したシールなど、実際の侵入原因の修理を先に行います。

REFERENCE

原図・説明：2026-10-09 ダイジェスト旧版 p.07 ／ 根拠資料：総合技術営業・詳細版（66ページ）詳細版 p.26

油種専用の保管・補給を標準化。

iCan｜専用容器を、補給品質の標準に。

容器を買い替えるだけでなく、識別・保管・移送を同じルールにします。



製品紹介用写真｜仕様・荷姿は供給品で確認

品質を保って運ぶ
蓋・注ぎ口を閉じ、共用による混油と外部汚染の入口を減らす。

作業条件で選ぶ
2 / 5 / 10 Lの容器、注ぎ口・ポンプ・識別用品を組み合わせる。

効果を記録する
こぼれ、清掃時間、表示不一致、補給時間を導入前後で比較。

価値を左右するのは、油種ごとの専用化と日常の使い方です。

出典：iCan製品資料／Reliture原資料11–20頁。図・選定表は新規作成。

FIELD NOTES

現場で確認すべき3つの視点

01 容量2 L・5 L・10 Lの容器から、作業量・注入口に応じて組み合わせます。

02 蓋・注ぎ口を閉じ、共用容器による混油や持込み汚染を減らします。

03 こぼれ・清掃時間・表示不一致・補給時間を改善前後で評価します。

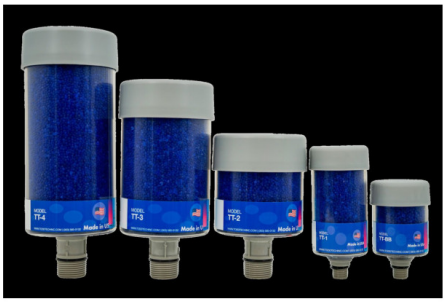
REFERENCE

原図・説明：2026-10-09 ダイジェスト旧版 p.08 ／ 根拠資料：総合技術営業・詳細版（66ページ）詳細版 p.27〜29

外気からの湿気・粒子侵入を抑制。

TTI｜吸気の水分・粒子を入口で抑える。

油槽・ギヤボックスの呼吸条件に合わせて、必要なろ過・吸湿方式を選びます。



製品紹介用写真｜仕様・荷姿は供給品で確認

吸湿型の役割
ろ材と吸湿材に空気を通し、外気由来の粒子・湿気の侵入を抑える。

通気を確保する
最大吸気・排気量と差圧を照合。タンク容量だけでは選ばない。

NDは粒子対策のみ
NDには吸湿材がありません。水分対策が必要なら吸湿型を検討。

油にすでに入った水分を除去する装置や、安全弁の代わりではありません。

出典：TTI PowerBreather原典 02Jun26／当社日本語カタログ（2026-10）。

FIELD NOTES

現場で確認すべき3つの視点

01 吸湿型はろ材・吸湿材による呼吸口対策。NDは吸湿材を持たない粒子対策型です。

02 最大吸気・排気量と差圧を装置の条件で照合し、タンク容量だけで選定しません。

03 すでに油へ侵入した水分を除去する装置ではなく、安全弁の代わりにもなりません。

REFERENCE

原図・説明：2026-10-09 ダイジェスト旧版 p.09 ／ 根拠資料：総合技術営業・詳細版（66ページ）詳細版 p.30〜33

ベルトは運転条件と交換性で選ぶ。

Vベルトは「運転」と「交換性」で選ぶ。

GATES製品とリンク式ベルトを、メーカー区分も含めて明確に分けます。

メーカー・製品	主な構造・役割	課題の入口
GATES / Quad-Power 4	ローエッジ・ノッチ、低伸張心線	連続運転・張力安定・効率
GATES / Predator	アラミド補強、耐衝撃設計	急起動・脈動・高負荷
GATES / PowerBand仕様	ベルト列を結合した構成	横振れ・反転・脱落
Fenner Drives / POWERTWIST	リンク式、現場で任意長に組立	分解困難な設備の交換性

POWERTWISTはGATES製品ではありません。断面・速度・施工条件は製品別に照合。

出典：当社GATES高性能Vベルト総合カタログ（2026、全24頁）。公表値と実機効果は区別。

FIELD NOTES

現場で確認すべき3つの視点

01 Quad-Power 4は連続運転時の曲げ・張力、Predatorは急起動・脈動・高負荷が検討入口です。

02 PowerBandは横振れや脱落条件を含めて検討します。

03 リンク式POWERTWISTのメーカーはFenner Drivesであり、GATESではありません。

REFERENCE

原図・説明：2026-10-09 ダイジェスト旧版 p.10 ／ 根拠資料：総合技術営業・詳細版（66ページ）詳細版 p.34〜38

張力を再現性のある測定へ。

04 / GATES U-550
TECHNICAL SALES / DIGEST

張力を「勘」から、再現できる測定へ。

GATES U-550で、停止したベルトの固有振動音を測り張力管理に活かします。



写真：U-550の測定イメージ。必ず停止・隔離して測定。

正しい入力
対象ベルト、質量定数、幅・本数などの係数とスパン長を取扱書で照合。

停止して測る
駆動源を遮断・隔離。ベルトを弾いて固有振動を測定。

施工を記録
初期張力、測定条件、試運転後の状態を残し、ばらつきを抑える。

正確な張力管理には、GATES U-550等の適切な測定器を使用します。

出典：当社GATES高性能Vベルト総合カタログ（2026、全24頁）。公表値と実機効果は区別。

FIELD NOTES

現場で確認すべき3つの視点

01 GATES U-550は停止したベルトの固有振動音を測る張力計です。

02 質量定数・スパン長・ベルト断面などを取扱説明書に基づいて入力します。

03 必ず駆動源を停止・遮断・隔離して測定。運転中の測定は禁止です。

REFERENCE

原図・説明：2026-10-09 ダイジェスト旧版 p.11 ／ 根拠資料：総合技術営業・詳細版（66ページ）詳細版 p.39〜40

見えない兆候を、保全判断へ。

05 / 超音波診断
TECHNICAL SALES / DIGEST

UE Systems｜見えない兆候を保全判断へ。

超音波を、聴音・数値・履歴とともに扱い、現場での確認に使います。



写真：UP-15000の資料掲載機器

軸受・給脂
摩擦・衝突に伴う変化と、給脂前後の反応を確認。

漏れ・設備点検
圧縮空気、ガス、蒸気トラップ、電気設備などを機種に応じて点検。

継続的な状態確認
同じ点・設定・負荷で測り、変化を記録して優先順位を付ける。

異常の発見から、処置・再確認までの運用を設計します。

出典：当社UE Systems機器・リース導入資料（2026-10）。機能・付属品は見積仕様で確認。

FIELD NOTES

現場で確認すべき3つの視点

01 超音波の聴音・数値・履歴を組み合わせ、軸受・給脂や漏れの兆候を確認します。

02 同じ場所・機器設定・負荷条件で測り、継続的な変化を把握します。

03 点検結果は機械の状態と照合し、超音波値単独で寿命・故障原因を断定しません。

REFERENCE

原図・説明：2026-10-09 ダイジェスト旧版 p.12 ／ 根拠資料：総合技術営業・詳細版（66ページ）詳細版 p.41〜44

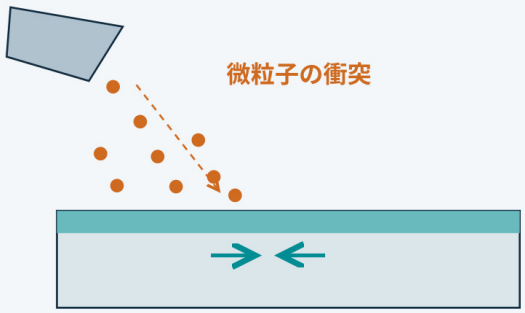
部品表面から疲労・摩擦を見直す。

06 / 表面改質

TECHNICAL SALES / DIGEST

OXISO｜部品表面から、疲労・摩擦を見直す。

潤滑剤の変更だけで改善しない場合、表面性状と材料の条件を検討します。



表層に圧縮残留応力を付与する考え方

OX-FSP
微細なショットで表層の圧縮残留応力・性状を制御。

OX-Polish
粗さ・テクスチャを整え、摺動・離型・摩擦の課題に対応。

採用判断
材料・形状・許容寸法を確認し、試作・実測を経て決定。

狙う機能を先に決め、処理名称だけで採用を判断しません。

出典：当社OXISO表面改質技術カタログ・Web原案（2026）。図は原理説明用の新規模式図。

FIELD NOTES

現場で確認すべき3つの視点

01 OX-FSPは微細ショットによる表層の圧縮残留応力・性状の制御を検討します。

02 OX-Polishは粗さやテクスチャを整える手法。滑らかであれば常に良いとは限りません。

03 材料・寸法許容・使用条件を照合し、試作・実測で採否を決めます。

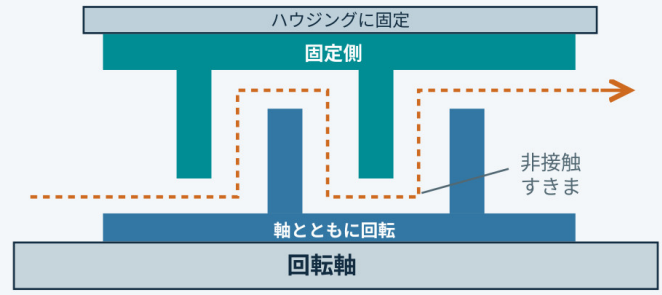
REFERENCE

原図・説明：2026-10-09 ダイジェスト旧版 p.13 ／ 根拠資料：総合技術営業・詳細版（66ページ）詳細版 p.45〜47

ラビリンスの屈曲した侵入経路。

軸受保護｜侵入を抑える構造から考える。

固定側と回転側の歯を交互に配置した、軸方向の片側断面の一般模式図です。



屈曲した経路で移動を抑制。完全な遮断を保証する図ではありません

固定側と回転側
固定側はハウジングへ、回転側は軸へ連結する。

非接触の経路
交互の歯とすきまで直進を避け、移動を抑制する。

実機では別途確認
圧差、静止時、浸水、排出経路、軸振れ・寸法。

一般原理の図です。SEPCO EXPの製品断面や具体的な設計寸法を示していません。

補足確認：SEPCO EXP公式製品資料・EXP DATA SHEET V0041619（公開資料確認 2026-10-09）。

FIELD NOTES

現場で確認すべき3つの視点

01 固定側と回転側の歯・すきまを組み合わせ、侵入物の直進を妨げる考え方です。

02 図は一般原理であり、SEPCO EXPの確定した製品断面・寸法ではありません。

03 圧差・静止・浸水・排出経路・軸振れなどを別途確認します。

REFERENCE

原図・説明：2026-10-09 ダイジェスト旧版 p.14 ／ 根拠資料：総合技術営業・詳細版（66ページ）詳細版 p.48〜51

簡易測定と詳細分析の境界。

油・グリースの調査を、原因確認の入口へ。

簡易スクリーニングで分かることと、詳細分析が必要なことを分けます。

段階	確認すること	結果だけでは断定できないこと
簡易：鉄系摩耗粉	対応計測器で測る濃度と傾向	非鉄粉を含む全金属量、部位、残存寿命
詳細：水分・粘度・IR	外部機関の方法による性状・変化	1項目だけでの故障原因
詳細：元素・粒子等	必要に応じた追加分析	測定法の検出範囲外の状態

測定範囲・受入条件・実施体制・費用を確認し、案件ごとにご案内します。

出典：当社潤滑油・グリース簡易診断構想／標準フォーム集。実施体制・分析法は個別に確認。

FIELD NOTES

現場で確認すべき3つの視点

01 鉄粉濃度計は対応する鉄系摩耗粉の濃度と傾向を把握するための道具です。

02 非鉄金属を含む全金属量・損傷位置・軸受の残存寿命は単独で断定できません。

03 水分・粘度・IR・元素・粒子等は必要に応じ外部詳細分析と組み合わせます。

REFERENCE

原図・説明：2026-10-09 ダイジェスト旧版 p.15 ／ 根拠資料：総合技術営業・詳細版（66ページ）詳細版 p.52〜55

屋外ギヤボックスの油の白濁。

提案例 A｜屋外ギヤボックスの油が白濁。

症状・仮説・対策・評価を、ひとつの提案へまとめます。

01 症状

雨天後に白濁し、油の交換回数が多い。

02 原因の仮説

呼吸口、軸シール、冷却水、結露を確認。

03 改善の構成

水分分析 → 侵入箇所の修理 → TTI・SEPCO・iCanの要否を検討。

04 比較する指標

水分・粒子・油温・交換間隔・補給作業。

良い油を入れる前に、水分が入る経路を止めることを優先します。

説明用モデル。実顧客の導入実績・実測結果ではありません。

FIELD NOTES

現場で確認すべき3つの視点

01 雨天後の白濁・交換回数の増加をモデル症状として設定します。

02 水分分析から、呼吸口・軸シール・冷却水・結露などの侵入経路を確認します。

03 修理を優先し、TTI・SEPCO・iCanの必要性を検討。水分・粒子・交換間隔で比較します。

REFERENCE

原図・説明：2026-10-09 ダイジェスト旧版 p.16 ／ 根拠資料：総合技術営業・詳細版（66ページ）詳細版 p.56

送風機のベルトと軸受給脂。

ベルト摩耗と過給脂、それぞれの起点を確認。

症状から必要な測定を選び、改善前後に同じ指標を比べます。

送風機のベルト摩耗

確認
張力・芯ずれ・プーリ摩耗・負荷。

構成
GATES選定＋U-550測定＋施工是正。

指標
張力・温度・振動・交換周期。

過給脂と軸受の発熱

確認
量・供給経路・油膜・摩耗。

構成
UE状態確認＋OMEGA適合＋鉄粉調査。

指標
給脂量・超音波値・温度・摩耗粉。

修理・施工・給脂の是正と、製品変更の効果を分けて確認します。

説明用モデル。実顧客の導入実績・実測結果ではありません。

FIELD NOTES

現場で確認すべき3つの視点

01 ベルト摩耗は張力・芯ずれ・プーリ摩耗・負荷変動を評価します。

02 過給脂による発熱では、給脂量・油膜・超音波・摩耗粉を組み合わせます。

03 製品変更と施工・運用是正の効果を分けて比較します。

REFERENCE

原図・説明：2026-10-09 ダイジェスト旧版 p.17 ／ 根拠資料：総合技術営業・詳細版（66ページ）詳細版 p.57〜58

設備1台・課題1件から始める。

08 / 導入・評価
TECHNICAL SALES / DIGEST

1台・1課題から、導入と評価を始める。

安全条件と比較指標を先に合意し、結果から採否と横展開を判断します。

01
情報を整理
型式・症状・運転条件・現用品。

02
候補を検討
原因の仮説・追加確認・技術構成。

03
限定して試す
対象・施工・評価期間・停止基準。

04
結果を比較
状態値と年間費用を確認して標準化。

見積・供給可否・分析体制は、技術適合の確認と並行して個別にご案内します。

基礎資料：当社 総合営業プレゼン詳細改訂版（2026-10-09）。

FIELD NOTES

現場で確認すべき3つの視点

01 ①情報整理→②候補検討→③限定試験→④結果比較の4段階です。

02 安全条件・採用基準・停止基準を先に決め、実機に適するKPIを選びます。

03 比較条件をそろえ、測定結果から標準化や横展開の可否を判断します。

REFERENCE

原図・説明：2026-10-09 ダイジェスト旧版 p.18 ／ 根拠資料：総合技術営業・詳細版（66ページ）詳細版 p.60

単価ではなく、総費用で判断する。

08 / 費用対効果
TECHNICAL SALES / DIGEST

単価が上がっても、総費用は下がるか。

計算例（すべて仮定）：初期導入費と年間経常費を分け、二重計上を避けます。

年間の費用項目	導入前	導入後
油剤・部品	12万円	16万円
作業費	18万円	6万円
処理・清掃費	3万円	1万円
合計	33万円	23万円

仮定：作業60→20時間/年、単価3,000円/時。
停止損失・故障削減は、この例では算入しません。

年間の経常費差額
10 万円

初期費8万円を含めた初年度差額
2 万円
単純回収期間：0.8年

実機では費用・作業・観測期間を確認。安全・品質はコスト優位より優先します。

新規の説明用試算。顧客実績・予測・保証ではありません。年間差額10万円、初期費8万円を仮定。

FIELD NOTES

現場で確認すべき3つの視点

01 以下は説明用の仮定値です。年間経常費は導入前33万円、導入後23万円です。

02 年間差額10万円、初期導入費8万円、初年度正味差額は2万円と設定しています。

03 停止損失・故障削減はこの例に算入せず、実際の改善効果を保証するものではありません。

REFERENCE

原図・説明：2026-10-09 ダイジェスト旧版 p.19 ／ 根拠資料：総合技術営業・詳細版（66ページ）詳細版 p.61

写真と基本条件から一次検討を開始。

08 / 相談の進め方
TECHNICAL SALES / DIGEST

写真と基本条件から、一次検討を始める。

初回は必要な情報を整理し、候補構成と評価の進め方を明確にします。

お知らせいただく情報	内容の例	検討で整理すること
設備	型式・メーカー・銘板・写真	構造・取付・使用範囲
症状	いつ・どこで・どの程度	原因仮説と追加の確認
運転条件	回転数・荷重・温度・時間	必要性能と測定条件
現用品	油剤・ベルト・シール・履歴	混和・置換・適合
目標・導入条件	改善したい点・予算・停止時間	試験範囲・評価指標・見積条件

対応範囲・供給条件・分析の実施体制は、案件内容を確認して個別にご案内します。

基礎資料：当社 総合営業プレゼン詳細改訂版（2026-10-09）。

FIELD NOTES

現場で確認すべき3つの視点

01 設備の型式・メーカー・銘板・写真、症状と発生状況、運転条件を共有します。

02 現用品、故障履歴、改善目標、予算、停止可能時間を整理します。

03 適合性・見積・供給・分析体制は案件ごとに個別確認します。

REFERENCE

原図・説明：2026-10-09 ダイジェスト旧版 p.20 ／ 根拠資料：総合技術営業・詳細版（66ページ）詳細版 p.63

根拠と検証範囲を区別する。

09 / 出典・適用範囲

TECHNICAL SALES / DIGEST

公表特性、概念図、実機評価を区別します。

詳細な根拠・型式の使い分けは、別冊の詳細版に集約しています。

潤滑・伝動・監視

主な資料

OMEGA ODP/PIM
ROCOL製品カタログ
GATES・UE機器資料

根拠をたどる

保護・加工・調査

TTI / iCan / SEPCO
OXISO表面改質資料
当社診断標準フォーム

条件を確認する

例示と適用範囲

図は新規模式図。提案例・費用計算は説明用で、実績・性能保証ではありません。

OEM指定・安全・登録・混和・供給・分析体制は、正式提案時に最新情報で確認。

詳細版の出典頁参照。メーカー公開資料の補足確認日：2026-10-09。

FIELD NOTES

現場で確認すべき3つの視点

01 OMEGA ODP/PIM、ROCOL、GATES、UE Systems、TTI、iCan、SEPCO、OXISOの資料を根拠にします。

02 製品写真・概念図・仮定の提案例とメーカー公表値を混同しません。

03 正式な仕様・安全・登録・混和・供給条件は、採用時点の最新版で必ず照合します。

REFERENCE

原図・説明：2026-10-09 ダイジェスト旧版 p.21 ／ 根拠資料：総合技術営業・詳細版（66ページ）詳細版 p.64〜65

FROM ONE MACHINE TO A BETTER OPERATION

相談から実機評価へ。導入の進め方。

製品販売の前に、原因の確認と評価条件を整理します。

CONSULTATION ROADMAP

01
設備条件を確認
型式・症状・稼働条件・現用品・故障履歴・写真。

02
仮説と対策を整理
潤滑・汚染・伝動・状態監視・表面のうち必要な領域を選定。

03
限定的に試験
対象設備・計測方法・期間・停止基準・関係者を合意。

04
改善を判定
摩耗・温度・水分・張力・作業・年間費用を同条件で比較。

TCO / ILLUSTRATIVE ONLY

費用対効果を評価する

年間経常費のモデル例：33万円 → 23万円（年10万円差）。初期導入費8万円の場合、初年度差額は2万円。これらは説明用の仮定であり、実績・性能保証・見積ではありません。

原典：詳細版 p.60–61、ダイジェスト旧版 p.18–19。

技術相談・製品選定に関するお問い合わせ
電話 076-251-7966 | koyanagi@velde-trading.co.jp
www.velde-trading.co.jp

SOLUTIONS FOR
RELIABLE OPERATIONS

KEEP
INDUSTRY
RUNNING
TOMORROW

設備1台・課題1件から、具体的な改善提案へ。

技術・製品に関するご相談、選定のサポート、
現場の課題解決まで。お気軽にお問い合わせください。

With Technology for a Better Tomorrow

Velde trading

有限会社ヴェルデ・トレーディング

VELDE-TRADING Co., Ltd. / 2026

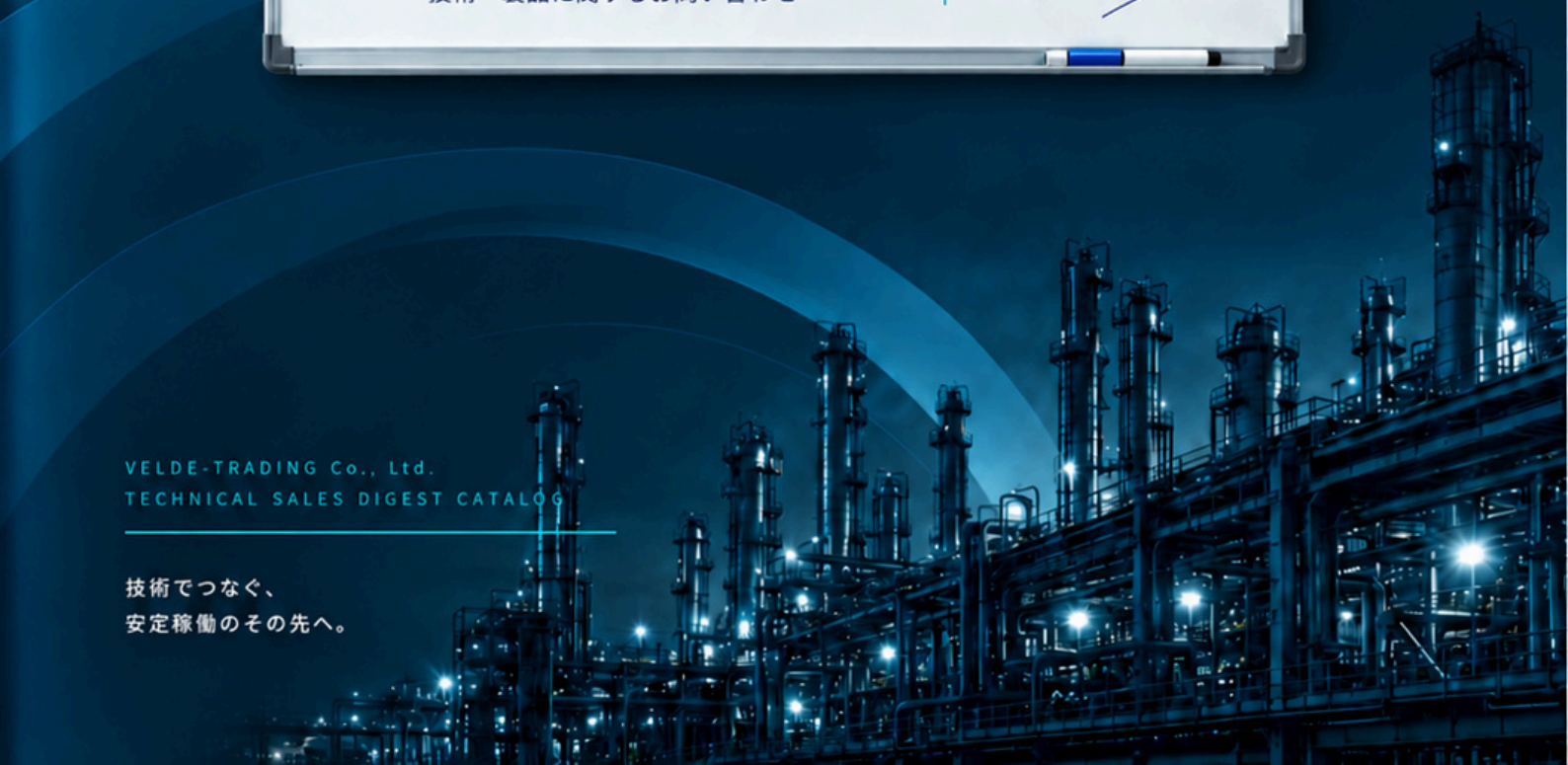
TEL 076-251-7966
E-MAIL koyanagi@velde-trading.co.jp
WEB www.velde-trading.co.jp

技術・製品に関するお問い合わせ

TECHNICAL
CONSULTATION
FOR A
STRONGER INDUSTRY

技術相談フォーム

現場に、確かな答えを。



VELDE-TRADING Co., Ltd.
TECHNICAL SALES DIGEST CATALOG

技術でつなぐ、
安定稼働のその先へ。